

# わかった！できた！



令和2年12月8日 No.12

## 阿品台中学校区3校合同研究会 令和2年度「学力フォローアップ校事業」指定校 を行いました。

11月18日に、阿品台中学校区3校合同研究会を行いました。本年度は、広島県教育委員会の学力フォローアップ校事業の指定校である阿品台東小学校が授業を提案するとともに、参加した方々にはこの3年間積み上げてきた校内研修の一端を体験していただきました。

### ●公開授業（小学校 13：45～14：30）

授業	参加者の声																																																						
1年2組 算数科 「ひきざん(2)」 授業者：黒瀬 晴香	<p>○おだやかに授業をされていて、クラス全体が落ち着いた雰囲気です。学習規律もきちんと定着させているなど感心しました。10からまとめて引く、というやり方が早くて便利なことに気づかせるために、先生が動作化（柿をかごに入れる）したのがよかったです。</p> <p>○提示装置を活用すると、一目で分かるので、視覚的によかったです。個別の支援がよくできていました。</p> <p>○ユニバーサルデザインを具体化して取り組んでいたと思います。</p> <p>○とてもクラスが落ち着いていて、学びの環境が整っていると感じました。それも、先生のおだやかな語りが物語っているように思います。低学年の積み上げが大切だと、改めて感じました。</p> <div data-bbox="411 1473 1034 1870" data-label="Figure"> <p>参加者アンケート結果</p> <table border="1"> <caption>参加者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>5到達</th> <th>4おおむね到達</th> <th>3</th> <th>2もう少し</th> <th>1不十分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○本時の目標が達成できていた</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○「振り返り」の場の設定</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○深い学びを実現するための工夫</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○協働的な学びの場</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○学びに向う姿勢</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○課題解決の見通し</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○効果的な手立て</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>○学習意欲を喚起させる工夫</td> <td>80%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1037 1523 1460 1825" data-label="Image"> </div>	項目	5到達	4おおむね到達	3	2もう少し	1不十分	○本時の目標が達成できていた	100%	0%	0%	0%	0%	○「振り返り」の場の設定	80%	20%	0%	0%	0%	○深い学びを実現するための工夫	80%	20%	0%	0%	0%	○協働的な学びの場	80%	20%	0%	0%	0%	○学びに向う姿勢	80%	20%	0%	0%	0%	○課題解決の見通し	80%	20%	0%	0%	0%	○効果的な手立て	80%	20%	0%	0%	0%	○学習意欲を喚起させる工夫	80%	20%	0%	0%	0%
項目	5到達	4おおむね到達	3	2もう少し	1不十分																																																		
○本時の目標が達成できていた	100%	0%	0%	0%	0%																																																		
○「振り返り」の場の設定	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
○深い学びを実現するための工夫	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
○協働的な学びの場	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
○学びに向う姿勢	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
○課題解決の見通し	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
○効果的な手立て	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
○学習意欲を喚起させる工夫	80%	20%	0%	0%	0%																																																		
2年1組 国語科 「あなのやくわり」 授業者：白神 彰大	<p>○子どもの意欲的に取り組む姿勢に、とても優しい気持ちになりました。小学生と中学生では違うことも多いですが、ユニバーサルデザインの視点は生かされます。大事なのは、子どもの実態把握だと改めて感じました。こどもたちに合う指導（手立て）を考えていきたいと思います。</p> <p>○対象児童が集中できるようにするための日頃からの手立てがよく分かりました。文章を電子黒板で見せて、ポイントに印をつけるという視覚支援も有効だったと</p>																																																						

思いました。  
 ○言葉にこだわり、これまでも丁寧に指導されている様子が分かりました。子ども達が教材の文章を覚え、キーワードとなる言葉もとらえ、しっかり身に付けていました。読み取ったことを使って、自分で書くことはまだハードルが高いと思いました。板書、掲示物、教科書のライン（色）など、手掛かりもたくさんありました。

参加者アンケート結果

目標	5到達	4おおむね到達	3	2もう少し	1不十分
○本時の目標が達成できていた	60%	30%	10%	0%	0%
○「振り返り」の場の設定	20%	40%	20%	10%	10%
○深い学びを実現するための工夫	60%	30%	10%	0%	0%
○協働的な学びの場	40%	40%	10%	10%	0%
○学びに向う姿勢	40%	40%	10%	10%	0%
○課題解決の見通し	40%	40%	10%	10%	0%
○効果的な手立て	40%	40%	10%	10%	0%
○学習意欲を喚起させる工夫	40%	40%	10%	10%	0%



3年1組  
 算数科  
 「分数」  
 授業者：櫻下 真弓

○子ども達が生き生きと活動している姿がとてもよかったです。子ども達が学びに向かうように、ユニバーサルデザインの視点を活用して取り組まれているところが素晴らしいと思いました。  
 ○児童が45分間集中して学習に取り組み、一人ひとりがタブレットを使い、自力解決することができていた。一人ひとりにタブレットを使用させるためのそれまでの指導、ルールの定着、自分の番号を覚えさせるのは、大変なことだと思います。使用方法や発表の仕方を参考にしたいと思いました。  
 ○タブレット（ICT 機器の活用）は、これから必須になることだと思います。思考の場での活用について探っていきたいです。学習意欲の喚起だけでなく、使い慣れて思考の助け、説明の方法としていきたいと思っています。

参加者アンケート結果

目標	5到達	4おおむね到達	3	2もう少し	1不十分
○本時の目標が達成できていた	60%	30%	10%	0%	0%
○「振り返り」の場の設定	20%	40%	20%	10%	10%
○深い学びを実現するための工夫	60%	30%	10%	0%	0%
○協働的な学びの場	40%	40%	10%	10%	0%
○学びに向う姿勢	40%	40%	10%	10%	0%
○課題解決の見通し	40%	40%	10%	10%	0%
○効果的な手立て	40%	40%	10%	10%	0%
○学習意欲を喚起させる工夫	40%	40%	10%	10%	0%



●演習 (14:45~15:30)

阿品台東小学校が校内研修で行っている「個のつまずきの要因分析とユニバーサルデザインの視点に立った手立ての検討」を実際に体験していただき協議、交流しました。



December 8, 2020

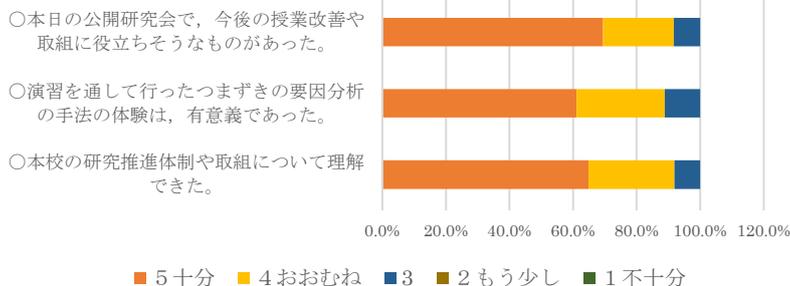
●全体会 (15:45~16:45)

研究発表 廿日市市立阿品台東小学校研究主任 横溝 改 教諭  
講 評 広島県西部教育事務所 小西 宏明 指導主事

参加者の声 (全体を通して)

- 協議会で用いられている要因分析シートは、いいなと思いました。具体的手立てや支援を考えやすく、話し合いも盛り上がるなと思いました。
- 一人一人のために、手立てを考えることが、授業改善につながると感じました。全校で、足並みそろえて授業研究されていることがよくわかりました。
- 演習があったことで、手法について体験的に理解することができました。
- つまずきのポイントを要因分析の手法を取り入れて考えたので、とても分かりやすかったです。担任だけの負担ではなく、多角的、多面的に児童の実態をとらえるのは良いなと思いました。
- 聞くことや書くこと、考えることを様々なところで意識して指導されていることがわかりました。授業の中ではできない子の支援に時間をとることはなかなかできませんが、放課後なども活用されていることがすばらしいと思いました。
- 予想されるつまずきとそれに対する手立てを用意して指導していることの実態がよくわかりました。手立てが上手くいくこともそれほどでもないこともあるのですが、一人も取り残さないという取り組みが素晴らしいと思いました。

参加者アンケート (公開研究会について)



挨拶

廿日市市教育委員会 奥 典道 教育長

○コロナ禍での変化への対応について (長期の臨時休業への対応も含めて)

①子どもの学びへの保障を強く求められている。

適切な課題設定 家庭との連携 タブレットを活用したオンライン授業も

②校内研修の工夫

集まったの研修にはリスクがあるが、教員が学び続けることは大事

何をどう学のかを明確にし、研修の方法は工夫しながら新しい形を見出すことが必要

○小中連携の積み上げの強さについて

伝統的な風土があり、そこがよいところである 授業の中での子どもたちの成長が見られてよかった

○学力フォローアップ校事業でのチャレンジ

つまずきの発見を共有し、対応して欲しい

取り組んだことを評価し、様々なところへ自信をもって発信してほしい

## 講評

広島県西部教育事務所 小西 宏明 指導主事

○本校の強み

- ・組織的に研究を推進していること
- ・ICTを使った研修
- ・積極的な小中連携
- ・ユニバーサルデザインの視点により資質向上を目指している

○3つの柱

①自ら学びたくなる教育の創造に向けて

- ・学問のすすめ（統一した指導）
- ・最後まで見通しを持たせる導入の工夫
- ・課題解決に向けての資質を向上させること
- ・課題のある児童に対しての手立て（ユニバーサルデザインの視点に立って）→学力補充
- ・組織的，計画的，継続的に取り組むこと
- ・阿東っ子タイム（朝タイムの活用）
- ・質感，量感を実感できる掲示
- ・小学校低学年からのつまずきをフォローアップすることの大切さ

②授業

- ・つまずきの要因分析→指導と評価の一体化
- ・つまずきの要因を想定し，手立て，支援

1年生（ひきざん2）・・・

問題から情景をイメージさせるため，分かっていることを整理

10のかたまりからひいていく良さを実感させる

2年生（あなのやくわり）・・・

言葉や文章構成を意識させていた 教材文の参考となる既習事項の掲示

児童の書いたものでいいものを提示していた（例：穴のあいたおたま）

3年生（分数）・・・

$2/5 + 1/5 = 3/10$  の誤答を提示

タブレットの活用→多様な学び，主体的な学びになるところがよい

児童の目線に合わせ，思考を高められるような支援をし，思考を深めていくことが次の学びへの意欲へつながっている

③今後に向けて，学習評価の充実を

- ・指導と評価の一体化

めあてに向かって立ち止まって考えたりしながら，粘り強い態度を育てる

自己評価し，自己調整していく力をつけさせていく→児童の学習改善・教師の授業改善につなげる

- ・研究の普及→全県へ発信

「わかった・できた」こどもの育成へ



廿日市市教育委員会 金本 旭史 指導主事より

先生方がこれまで積み重ねてこられた取組や当日までのきめ細かな準備等、意欲的に研究推進に取り組んでこられた成果が、子ども達の主体的に学ぶ姿に現れていたと思います。

子ども達の「解きたい」「できるようにになりたい」「もっとやりたい」という学び続ける姿が多く見られました。本当に素晴らしい公開研究会でした。